



コール ピックアップ グループ

コール ピックアップ機能を使用すると、自分の電話番号以外の番号に着信したコールに応答できます。この機能については、[P.10-2](#)の「[コール ピックアップ グループの概要](#)」で説明します。

ここでは、次のトピックについて説明します。

- [コール ピックアップ グループの概要 \(P.10-2\)](#)
- [コール ピックアップ グループのシステム要件 \(P.10-4\)](#)
- [インタラクションおよび制限事項 \(P.10-5\)](#)
- [コール ピックアップ グループのインストールとアクティブ化 \(P.10-7\)](#)
- [コール ピックアップ グループの設定 \(P.10-7\)](#)
- [関連項目 \(P.10-16\)](#)

コールピックアップグループの概要

Cisco Unified IP Phone では、コールピックアップ、グループコールピックアップ、および他グループコールピックアップという3つのタイプのコールピックアップを使用できます。

- コールピックアップ: ユーザは、本人が所属するグループ内の着信コールを受けることができます。Cisco Unified CallManager は、ユーザが Cisco Unified IP Phone からこの機能をアクティブにしたときに、適切なコールピックアップグループ番号を自動的にダイヤルします。このタイプのコールピックアップには、[ピック] ソフトキーを使用します。
- グループコールピックアップ: ユーザは、別のグループ内の着信コールを受けることができます。ユーザは、Cisco Unified IP Phone からこの機能をアクティブにするときに、適切なコールピックアップグループ番号をダイヤルする必要があります。このタイプのコールピックアップには、[G ピック] ソフトキーを使用します。



(注) コールピックアップ機能とグループコールピックアップ機能の設定手順は同じです。グループコールピックアップ番号は、回線または電話番号に適用されます。

- 他グループコールピックアップ: ユーザは、本人が所属するグループに関連付けられたグループ内の、着信コールを受けることができます。Cisco Unified CallManager は、ユーザが Cisco Unified IP Phone からこの機能をアクティブにしたときに、関連付けられたグループ内の着信コールを自動的に検索して、コール接続を確立します。このタイプのコールピックアップには、[他 Grp] ソフトキーを使用します。

関連付けられたグループが複数存在する場合、関連付けられたグループへのコールに応答する際の優先順位は、関連付けられた最初のグループから最後のグループまでの順になります。たとえば、グループ A、B、および C がグループ X に関連付けられており、コールに応答する際の優先順位がグループ A、B、および C の順になっているとします。グループ A の着信コールよりも前にグループ C にコールが着信している可能性があります。グループ X は最初にグループ A の着信コールを受けます。



(注) 通常、同じグループ内で複数の着信コールが発生した場合は、呼び出し音が最も長く鳴っている（呼び出し時間が最も長い）コールが最初に応答されます。他グループコールピックアップの場合、関連付けられたピックアップグループが複数設定されているときは、呼び出し時間よりも優先順位が優先されます。

アイドルおよびオフフックのコール状態では、[ピック]、[G ピック]、および [他 Grp] の3つのソフトキーが使用可能になります。管理者は、ユーザがコールピックアップ機能呼び出せるよう、これらのソフトキーを標準ソフトキーテンプレートに追加する必要があります。P.10-7 の「[コールピックアップグループの設定チェックリスト](#)」および P.10-9 の「[他グループコールピックアップの設定チェックリスト](#)」を参照してください。

自動コールピックアップ

Auto Call Pickup Enabled サービスパラメータを有効にすると、コールピックアップ、グループピックアップ、および他グループピックアップを自動化できます。

このパラメータが有効になっている場合、ユーザが電話機の該当するソフトキーを押すと、Cisco Unified CallManager は、ユーザが所属するピックアップグループ、別のピックアップグループ、またはユーザが所属するグループに関連付けられたピックアップグループ内の着信コールにユーザを自動的に接続します。このアクションに必要なキーストロークは1回のみです。

自動コール ピックアップは、ユーザを本人が所属するグループの着信コールに接続します。ユーザが電話機の [ピック] ソフトキーを押すと、Cisco Unified CallManager はグループ内の着信コールを特定し、コール接続を行います。自動化が有効でない場合、ユーザはコール接続の際に [ピック] ソフトキーと [応答] ソフトキーを押す必要があります。

自動グループ コール ピックアップは、ユーザを別のピックアップ グループの着信コールに接続します。ユーザは電話機の [G ピック] ソフトキーを押し、別のピックアップ グループの DN をダイヤルします。DN を受信すると、Cisco Unified CallManager はコール接続を行います。自動グループ コール ピックアップが有効でない場合、ユーザは [G ピック] ソフトキーを押して別のピックアップ グループの DN にダイヤルし、コールに応答して接続を確立する必要があります。

自動他グループ コール ピックアップでは、ユーザを本人が所属するグループに関連付けられたグループの着信コールに接続します。ユーザは電話機の [他 Grp] ソフトキーを押します。Cisco Unified CallManager は、[コールピックアップグループの設定 (Call Pickup Group Configuration)] ウィンドウに管理者が入力した順序で、関連付けられたグループ内の着信コールを自動的に検索し、コールが見つかったらコール接続を行います。自動化が有効でない場合、ユーザはコール接続の際に [他 Grp] ソフトキーと [応答] ソフトキーを押す必要があります。



(注) CTI アプリケーションでは、コールに応答している通話者を監視できます。しかし、ピックアップの要求者または応答されたコールの着信先を監視することはできません。したがって、Cisco Unified CM Assistant では自動コール ピックアップ (ワンタッチ コール ピックアップ) は使用できません。

応答なし時のコール ピックアップ

サービス パラメータ Auto Call Pickup Enabled が [False] に設定されているときにコール ピックアップが発生した場合、その電話機で設定されたコール転送は、いずれかのピックアップ ソフトキーが押されると無視されます。コール ピックアップの要求者がコールに応答しない場合、ピックアップ 応答なしタイマーが時間切れになった後に元のコールが復元されます。

ビジー時のコール ピックアップ

サービス パラメータ Auto Call Pickup Enabled が [False] に設定されているときにコール ピックアップが発生した場合、コール ピックアップの要求者の電話機がビジーのときに、元のコールが復元されます。

帯域幅不足時のコール ピックアップ

サービス パラメータ Auto Call Pickup Enabled が [False] に設定されているときにコール ピックアップが発生した場合、コール発信者と要求者の電話機間の帯域幅が不足していると、元のコールが復元されます。

追加情報

P.10-16 の「[関連項目](#)」を参照してください。

パーティションによりアクセスを制限するコールピックアップ機能の使用

コールピックアップグループ番号にパーティションを割り当てると、コールピックアップグループへのアクセスを制限できます。この設定を使用すると、コールピックアップグループ番号のあるパーティションをコーリング検索スペースに含んでいる電話機だけが、そのコールピックアップグループに加入できます。パーティションとグループ番号の組み合わせは、システム全体で一意になるようにしてください。

- コールピックアップグループ番号がパーティションに割り当てられていると、そのパーティション内の番号をダイヤルできる電話機だけが、そのコールピックアップグループを使用できる。
- パーティションがマルチテナント構成のテナントに相当する場合は、各テナントに該当するパーティションに対してピックアップグループを割り当てる必要がある。

マルチテナント構成は、コールピックアップグループでパーティションを使用する例になります。ピックアップグループをテナントごとに適切なパーティションに割り当てると、グループ番号が他のテナントに表示されなくなります。

コールピックアップグループのシステム要件

コールピックアップグループが動作するには、次のソフトウェアコンポーネントが必要です。

- Cisco Unified CallManager 5.0

次の SCCP 電話機と SIP 電話機は、Standard User と Standard Feature のソフトキーテンプレートの Pick Up (PickUp) ソフトキーと Group Pick Up (GPickUp) ソフトキーで、コールピックアップグループをサポートしています。

- Cisco Unified IP Phone (モデル 7941、7961、7970、7971)

次の SCCP 電話機は、Standard User と Standard Feature のソフトキーテンプレートの Pick Up (PickUp) ソフトキーと Group Pick Up (GPickUp) ソフトキーでコールピックアップグループをサポートしています。

- Cisco Unified IP Phone (モデル 7905、7912、7920、7940、7960)



(注)

管理者は、ソフトキーテンプレートに Other Pickup (oPickup) ソフトキーを追加する必要があります。

インタラクションおよび制限事項

次の項では、コール ピックアップにおけるインタラクションおよび制限事項について説明します。

- [インタラクション \(P.10-5\)](#)
- [制限事項 \(P.10-6\)](#)

インタラクション

次の各項では、コール ピックアップ グループが Cisco Unified CallManager アプリケーションおよびコール処理とどのように通信するかを説明します。

- [ルート プラン レポート \(P.10-5\)](#)
- [コーリング サーチ スペースとパーティション \(P.10-5\)](#)
- [Time of Day \(P.10-5\)](#)
- [コール アカウンティング \(P.10-6\)](#)
- [依存関係レコード \(P.10-6\)](#)

ルート プラン レポート

ルート プラン レポートには、Cisco Unified CallManager で設定されているパターンと電話番号が示されます。コール ピックアップ グループに電話番号を割り当てる前に、ルート プラン レポートを使用して、パターンと電話番号の重複を検索します。『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「ルート プラン レポート」の章を参照してください。

コーリング サーチ スペースとパーティション

デバイスのコーリング サーチ スペースに基づいてユーザによるコール ピックアップへのアクセスを制限するには、コール ピックアップ グループ番号をパーティションに割り当てます。『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「コーリング サーチ スペースの設定」および「パーティションの設定」を参照してください。

Time of Day

ユーザは、本人が所属するグループに関連付けられたグループのコールに応答するには、関連付けられたグループのメンバーに関するコーリング サーチ スペース、パーティション、および Time of Day (TOD) パラメータを設定することにより、本人が所属するグループと同じ時間帯にアクティブになってコールを受け入れることができます。TOD は、タイム スタンプをコーリング サーチ スペースとパーティションに関連付けます。

たとえば、ABC というパーティションが午前 9 時～午後 5 時までアクティブになっているとします。コーリング サーチ スペース cssABC は、パーティション ABC を含んでいます。pickABC というピックアップ グループには、電話機 1 と電話機 2 が含まれています。電話機 1 と電話機 2 は、同じコーリング サーチ スペース cssABC に存在します。電話機 1 の呼び出し音が午後 5 時 30 分に鳴り、電話機 2 がコールへの応答を試行する場合、午後 5 時以降はパーティションがアクティブになっていないため、この試行は失敗します。電話機 1 の呼び出し音が午前 9 時 30 分に鳴ると、電話機 2 はそのコールに応答できます。

コール アカウンティング

コールピックアップグループは、コール アカウンティングと通信します。

- 自動コールピックアップによってコールピックアップが発生すると、システムは2つの Call Detail Record (CDR; 呼詳細レコード) を生成します。一方の CDR はクリアされた元のコールに適用され、もう一方の CDR は接続された要求コールに適用されます。
- 自動でないコールピックアップによってコールピックアップが発生すると、システムは1つの呼詳細レコードを生成し、接続された要求コールにそれが適用されます。
- CDR 検索では、指定された特定の期間およびその他の検索条件に一致する CDR がすべて返されます。特定の CDR に関連付けられたコールのタイプがわかるよう、検索結果のコールタイプフィールドには、コールがピックアップコールかどうかが表示されます。

依存関係レコード

特定のコールピックアップ番号が割り当てられているデバイスを検索する必要がある場合は、Cisco Unified CallManager の管理ページの [コールピックアップグループの設定 (Call Pickup Group Configuration)] ウィンドウにある [依存関係レコード] リンクをクリックします。[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウには、そのコールピックアップ番号を使用しているデバイスに関する情報が表示されます。

ピックアップグループが他のピックアップグループに関連付けられている場合、そのピックアップグループの依存関係レコードには、関連付け情報が表示されます。たとえば、ピックアップグループ A がピックアップグループ B およびピックアップグループ C に関連付けられている場合、ピックアップグループ A の依存関係レコードには、ピックアップグループ B およびピックアップグループ C に対するピックアップグループ A の関連付けに関する情報が表示されます。

デバイスに関する詳細な情報を調べるには、デバイスをクリックします。[依存関係レコード詳細 (Dependency Records Detail)] ウィンドウが表示されます。依存関係レコードがシステムで使用できない場合は、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。

依存関係レコードの詳細については、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「依存関係レコードへのアクセス」を参照してください。

制限事項

コールピックアップグループには、次の制限事項があります。

- ある特定の電話機に割り当ててある異なる回線を異なるコールピックアップグループに割り当てることは可能ですが、ユーザの混乱を招く原因になるため、この設定はお勧めしません。
- 回線または電話番号に割り当てられているコールピックアップグループ番号を削除することはできません。コールピックアップ番号を使用している回線を調べるには、依存関係レコードを使用します。コールピックアップ番号を削除するには、各回線または各電話番号に新しいコールピックアップグループ番号を割り当て直す必要があります。
- コールピックアップグループ番号を更新すると、そのコールピックアップグループに割り当てられているすべての電話番号が自動的に更新されます。
- Cisco Unified CallManager Attendant Console は、コールピックアップグループ機能に対応していません。Attendant Console ユーザインターフェイスでは、JTAPI と CTI の制限により、コールピックアップグループに属する電話機から発信されるコールまたはその電話機に着信するコールを正しく処理できません。

コール ピックアップ グループのインストールとアクティブ化

システム機能のコール ピックアップ グループは、Cisco Unified CallManager ソフトウェアに標準で備わっています。この機能は、特にインストールする必要はありません。

コール ピックアップ グループの設定

この項の内容は次のとおりです。

- [コール ピックアップ グループの設定チェックリスト \(P.10-7\)](#)
- [他グループ コール ピックアップの設定チェックリスト \(P.10-9\)](#)
- [コール ピックアップ グループのサービス パラメータの設定 \(P.10-10\)](#)
- [コール ピックアップ グループの検索 \(P.10-11\)](#)
- [コール ピックアップ グループの設定 \(P.10-12\)](#)
- [コール ピックアップ グループの設定項目 \(P.10-13\)](#)
- [コール ピックアップ グループの削除 \(P.10-14\)](#)
- [他グループ コール ピックアップのピックアップ グループの定義 \(P.10-15\)](#)
- [電話番号へのコール ピックアップ グループの割り当て \(P.10-15\)](#)

コール ピックアップ グループの設定チェックリスト


表 10-1 に、コール ピックアップ グループを設定する際のチェックリストを示します。

表 10-1 コール ピックアップ グループの設定チェックリスト

設定手順	関連手順と関連項目
ステップ 1 コール ピックアップ グループでパーティションを使用する場合は、パーティションを設定します。	『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「パーティションの設定」 パーティションによりアクセスを制限するコール ピックアップ機能の使用(P.10-4)
ステップ 2 コール ピックアップ グループを設定します。名前と番号は一意にしてください。	コール ピックアップ グループの設定 (P.10-12)
ステップ 3 ステップ 2 で作成したコール ピックアップ グループを、コール ピックアップを有効にする電話機に関連付けられた電話番号に割り当てます。 <ul style="list-style-type: none"> • コール ピックアップ グループに割り当てられた電話番号だけが、コール ピックアップ機能を使用できます。 • コール ピックアップ番号でパーティションを使用する場合は、コール ピックアップ グループに割り当てられた電話番号が、適切なパーティションを含むコーリング サーチスペースを持つようにしてください。 	電話番号へのコール ピックアップ グループの割り当て (P.10-15)
ステップ 4 必要に応じて、電話ボタンテンプレートにコール ピックアップ ボタンまたはグループ コール ピックアップ ボタンを追加します。 この操作が必要になるのは、Cisco IP Phone モデル 12 SP、12 SP+、および 30 VIP だけです。	『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「電話ボタンテンプレートの設定」

■ コールピックアップグループの設定

表 10-1 コールピックアップグループの設定チェックリスト (続き)

設定手順		関連手順と関連項目
ステップ 5	<p>Pick Up (PickUp) ソフトキーと Group Pick Up (GPickUp) を使用する電話機に、Standard User または Standard Feature ソフトキー テンプレートを割り当てます。</p> <p> (注) コールを受ける電話機をユーザが所属するグループ内の電話機に限定するには、ソフトキー テンプレートの [G ピック] ソフトキーまたは [他 Grp] ソフトキーを [ソフトキーテンプレートの設定 (Softkey Template Configuration)] ウィンドウの [選択されていないソフトキー (Unselected Softkeys)] ボックスに移動して無効にします。</p>	<p>『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「IP Phone へのソフトキー テンプレートの割り当て」</p>
ステップ 6	<p>コールピックアップグループに対して自動コール応答が必要な場合は、Auto Call Pickup Enabled サービス パラメータの値に [True] を選択して有効にします。デフォルトは [False] です。</p>	<p>自動コールピックアップ (P.10-2)</p> <p>『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「サービスパラメータの設定」</p>
ステップ 7	<p>Auto Call Pickup Enabled サービス パラメータが [False] の場合は、Call Pickup No Answer Timer サービス パラメータの値を入力します。コールピックアップ、グループコールピックアップ、または他グループコールピックアップを使用してコールを受けた場合、このパラメータはコールの復元に要する時間を制御します。</p>	<p>『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「サービスパラメータの設定」</p>
ステップ 8	<p>Pickup Locating Timer サービス パラメータの値を入力します。このパラメータは、コールピックアップ、グループコールピックアップ、および他グループコールピックアップでのコール選択の時間を制御します。</p>	<p>『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「サービスパラメータの設定」</p>
ステップ 9	<p>コールピックアップ機能が使用可能であることをユーザに通知します。</p>	<p>ユーザが Cisco Unified IP Phone でコールピックアップ機能にアクセスする方法については、電話機のマニュアルを参照してください。</p>

追加情報

P.10-16 の「関連項目」を参照してください。

他グループ コール ピックアップの設定チェックリスト


表 10-2 に、他グループ コール ピックアップを設定する際のチェックリストを示します。

表 10-2 他グループ コール ピックアップの設定チェックリスト

設定手順	関連手順と関連項目
ステップ 1 すべてのピックアップ グループから選択可能な、関連付けられたグループのリストを設定します。リストには最大 10 のグループを含めることができます。	他グループ コール ピックアップのピックアップグループの定義 (P.10-15)
ステップ 2 ユーザのグループに関連付けられたグループのメンバーに関する Calling Search Space パラメータと TOD パラメータを設定します。	『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「コーリングサーチスペースの設定」 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Time-of-Day ルーティング」 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「タイムスケジュールの設定」 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「時間帯の設定」
ステップ 3 他グループ コール ピックアップに対して自動コール応答が必要な場合は、Auto Call Pickup Enabled サービス パラメータの値に [True] を入力して有効にします。デフォルトは [False] です。	自動コール ピックアップ (P.10-2) 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「サービスパラメータの設定」
ステップ 4 Auto Call Pickup Enabled サービス パラメータが [False] の場合は、Call Pickup No Answer Timer サービス パラメータの値を入力します。コールが他グループ コール ピックアップによってピックアップされた場合、このパラメータはコールの復元に要する時間を制御します。	『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「サービスパラメータの設定」
ステップ 5 Pickup Locating Timer サービス パラメータの値を入力します。このパラメータは、コール ピックアップ、グループ コール ピックアップ、および他グループ コール ピックアップでのコール選択の時間を制御します。	『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「サービスパラメータの設定」

■ コールピックアップグループの設定

表 10-2 他グループコールピックアップの設定チェックリスト (続き)

設定手順	関連手順と関連項目
<p>ステップ 6 電話機に Other Pickup (oPickup) ソフトキーを設定するには、Standard User または Standard Feature ソフトキー テンプレートを変更して、その電話機に追加します。</p> <p>Other Pickup (oPickup) ソフトキーを含めるには、次の手順でテンプレートを変更します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified CallManager の管理ページで [デバイス] > [デバイスの設定] > [ソフトキーテンプレート] を選択します。 • 対象となるソフトキー テンプレートを選択します。 • [ソフトキーレイアウトの設定] リンクを選択します。 • [On Hook] または [Off Hook] コール状態を選択します。 • [選択されていないソフトキー (Unselected Softkeys)] ボックスで [Other Pickup (oPickup)] を選択します。右矢印をクリックし、[Other Pickup (oPickup)] ソフトキーを [選択されたソフトキー (Selected Softkeys、位置順)] ボックスに移動します。 <p> (注) コールを受ける電話機をユーザが所属するグループ内の電話機に限定するには、ソフトキーテンプレートで [Other Pickup (oPickup)] ソフトキーを無効にします。</p>	<p>『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「IP Phone へのソフトキー テンプレートの割り当て」</p>
<p>ステップ 7 コールピックアップグループ機能が使用可能であることをユーザに通知します。</p>	<p>ユーザが Cisco Unified IP Phone でコールピックアップ機能にアクセスする方法については、電話機のマニュアルを参照してください。</p>

追加情報

P.10-16 の「関連項目」を参照してください。

コールピックアップグループのサービスパラメータの設定

Cisco Unified CallManager には、コールピックアップグループ用に、Auto Call Pickup Enabled、Call Pickup Locating Timer、および Call Pickup No Answer Timer という 3 つのクラスタ全体のサービスパラメータがあります。各サービスパラメータではデフォルトが設定されているので、特別な設定は必要ありません。

- Auto Call Pickup Enabled : デフォルトは [False] です。このパラメータは、自動コールピックアップ機能が有効かどうかを決定します。有効にするには、このフィールドを [True] に設定します。
- Call Pickup Locating Timer : デフォルトは 1 秒です。このサービスパラメータは、クラスタ内のすべてのノードからピックアップグループのすべてのアラートコールを取得するために、ピックアップが待機する最大時間を秒単位で指定します。
- Call Pickup No Answer Timer : デフォルトは 12 秒です。このパラメータは、ピックアップ要求を開始したユーザがコールを受けないことにした場合に、元のコールを復元するまでに待機する最大時間を秒単位で指定します。これは必須フィールドです。



(注) タイマーを設定するには、[システム] > [サービスパラメータ] を選択し、[詳細設定] アイコンを選択するか、[詳細設定] ボタンをクリックして、[Clusterwide Parameters (Feature - Call Pickup)] ペインのフィールドを更新します。

追加情報

P.10-16 の「関連項目」を参照してください。

コール ピックアップ グループの検索

ネットワーク上には、複数のピックアップ グループが存在する可能性があるため、Cisco Unified CallManager は特定の条件に基づいて、コール ピックアップ グループを検索します。コール ピックアップ グループを検索するには、次の手順を実行します。



(注) ブラウザ セッションでの作業中、Cisco Unified CallManager の管理ページは、コール ピックアップ グループの検索プリファレンスを保持します。他のメニュー項目に移動してこのメニュー項目に戻った場合、検索を変更するかブラウザを閉じない限り、Cisco Unified CallManager の管理ページによってコール ピックアップ グループの検索プリファレンスが保持されます。

手順

ステップ 1 [コールルーティング] > [コールピックアップグループ] を選択します。

[コールピックアップグループの検索と一覧表示 (Find and List Call Pickup Groups)] ウィンドウが表示されます。2つのドロップダウン リスト ボックスを使用して、コール ピックアップ グループを検索します。

ステップ 2 1 つめの [検索対象: コールピックアップグループ、検索条件:] ドロップダウン リスト ボックスから、次の条件のうち1つを選択します。

- [コールピックアップグループ番号 (Call Pickup Group Number)]
- [コールピックアップグループ名 (Call Pickup Group Name)]
- [パーティション (Partition)]

2 つめの [検索対象: コールピックアップグループ、検索条件:] ドロップダウン リスト ボックスから、次の条件のうち1つを選択します。

- [が次の文字列で始まる]
- [が次の文字列を含む]
- [が次の文字列で終わる]
- [が次の文字列と等しい]
- [が空である]
- [が空ではない]

ステップ 3 必要に応じて適切な検索文字を入力して、[検索] をクリックします。また、ページごとに表示する項目の件数を指定できます。



ヒント データベースに登録されているすべてのコールピックアップグループを検索するには、検索文字を入力せずに **【検索】** をクリックします。

検索されたコールピックアップグループのリストが、次の情報とともに表示されます。

- [コールピックアップグループ名 (Call Pickup Group Name)]
- [コールピックアップグループ番号 (Call Pickup Group Number)]
- [パーティション (Partition)]

コールピックアップグループに関する情報を複製するための **【コピー】** アイコンも表示されます。



(注) コールピックアップグループの横にあるチェックボックスをオンにして **【選択項目の削除】** をクリックすることによって、[コールピックアップグループの検索と一覧表示 (Find and List Call Pickup Groups)] ウィンドウから複数のコールピックアップグループを削除できます。電話番号および回線に割り当てられているコールピックアップグループを削除することはできません。

ステップ4 レコードのリストから、検索条件と一致するコールピックアップグループ名をクリックします。

選択したコールピックアップグループがウィンドウに表示されます。

追加情報

P.10-16の「[関連項目](#)」を参照してください。

コールピックアップグループの設定

ここでは、1つのコールピックアップグループを追加、コピー、および更新する方法について説明します。

手順

ステップ1 [コールルーティング] > [コールピックアップグループ] を選択します。

ステップ2 次のいずれかの手順を実行します。

- 新しいコールピックアップグループを追加するには、**【新規追加】** をクリックします。
- コールピックアップグループをコピーするには、P.10-11の「[コールピックアップグループの検索](#)」の手順を使用して、コールピックアップグループを検索します。[コピー] アイコンをクリックします。
- コールピックアップグループを更新するには、P.10-11の「[コールピックアップグループの検索](#)」の手順を使用して、コールピックアップグループを検索します。

[コールピックアップグループの設定 (Call Pickup Group Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ3 適切な設定値を入力するか更新します (表 10-1 を参照)。

- ステップ 4** 新規コール ピックアップ グループまたは変更されたコール ピックアップ グループをデータベースに保存するには、[保存] をクリックします。

追加情報

P.10-16 の「関連項目」を参照してください。

コール ピックアップ グループの設定項目

表 10-3 に、コール ピックアップ グループの設定項目を示します。関連する手順については、P.10-16 の「関連項目」を参照してください。

表 10-3 ピックアップグループの設定項目



フィールド	説明
[コールピックアップグループ情報 (Call Pickup Group Information)]	
[コールピックアップグループ名 (Call Pickup Group Name)]	最大で 30 文字の英数字を入力できます。たとえば、「Operations」のように指定します。ピックアップグループ名は、ピックアップグループ番号と関連付けられます。ピックアップグループはピックアップグループ名で選択できます。
[コールピックアップグループ番号 (Call Pickup Group Number)]	追加するコール ピックアップグループ用の一意の電話番号 (整数) を入力します。
[パーティション (Partition)]	<p>パーティションを使用してコール ピックアップグループへのアクセスを制限する場合は、ドロップダウンリストボックスから希望のパーティションを選択します。コール ピックアップグループへのアクセスを制限しない場合は、パーティションに [<None>] を選択します。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズパラメータを使用すると、このドロップダウンリストボックスに表示されるパーティションの数を設定できます。</p> <p> (注) リストボックス項目の最大数を設定するには、[システム] > [エンタープライズパラメータ] を選択し、[CCMAdmin Parameters] を選択します。</p> <p> (注) コール ピックアップグループ番号とパーティションの組み合わせが、Cisco Unified CallManager クラスタ内で固有であることを確認してください。</p>
[関連付け先コールピックアップグループ情報 (Associated Call Pickup Group Information)]: [番号/パーティションでピックアップ番号を検索 (Find Pickup Numbers by Numbers/Partition)]	
[パーティション (Partition)]	この表の [コールピックアップグループ番号 (Call Pickup Group Number)] にある [パーティション (Partition)] の説明を参照してください。
[コールピックアップグループ番号に含まれる (Call Pickup Group Numbers Contain)]	検索するピックアップグループの DN またはその一部を入力し、[検索] をクリックします。

表 10-3 ピックアップグループの設定項目 (続き)

フィールド	説明
[使用可能コールピックアップグループ (Available Call Pickup Groups)]	[現在の関連付け先コールピックアップグループ (Current Associated Call Pickup Groups)] 領域にある関連付け先コールピックアップグループリストにメンバーを追加するには、このリストからコールピックアップグループを選択し、[関連付け先コールピックアップグループに追加] をクリックします。
[現在の関連付け先コールピックアップグループ (Current Associated Call Pickup Groups)]	
[選択されたコールピックアップグループ (Selected Call Pickup Groups)]	コールピックアップグループリスト項目の順序を変更するには、このボックスの右側の上矢印と下矢印を使用して、リスト項目を移動します。リスト項目の順序を逆にするには、[選択された番号の順番を逆にする] をクリックします。このボックスから [削除されたコールピックアップグループ (Removed Call Pickup Groups)] ボックスにコールピックアップグループを移動するには、このボックスの下にある上矢印と下矢印を使用します。
[削除されたコールピックアップグループ (Removed Call Pickup Groups)]	このボックスから [選択されたコールピックアップグループ (Selected Call Pickup Groups)] ボックスにコールピックアップグループを移動するには、このボックスの上にある上矢印と下矢印を使用します。

コールピックアップグループの削除

この項では、Cisco Unified CallManager データベースからコールピックアップグループを削除する方法について説明します。

始める前に

回線または電話番号に割り当てられているコールピックアップグループ番号を削除することはできません。このコールピックアップグループを使用している電話番号のリストを表示するには、[依存関係レコード] リンクをクリックします。依存関係レコードがシステムで使用できない場合は、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「依存関係レコードへのアクセス」を参照してください。これらの電話番号のコールピックアップを再び有効にするには、各電話番号を新しいコールピックアップグループに割り当て直す必要があります。詳細については、P.10-15 の「電話番号へのコールピックアップグループの割り当て」を参照してください。

手順

- ステップ 1** P.10-11 の「コールピックアップグループの検索」の手順を使用して、コールピックアップグループを検索します。
- ステップ 2** 削除するコールピックアップグループをクリックします。
- ステップ 3** [削除] をクリックします。

そのコールピックアップグループが[コールピックアップグループの検索と一覧表示 (Find and List Call Pickup Groups)] ウィンドウに表示されなくなります。

追加情報

P.10-16 の「関連項目」を参照してください。

他グループ コール ピックアップのピックアップ グループの定義

この項では、関連付けられたグループに対する着信コールに応答するために、ユーザのグループにコール ピックアップ グループを関連付ける方法について説明します。グループには、最大 10 のコール ピックアップ グループを関連付けることができます。関連付けられたグループのコールに
応答する優先順位は、関連付けられたグループ リストで最初に関連付けられたグループから最後に
関連付けられたグループの順になります。表 10-1 の説明のように、[コールピックアップグループ
の設定 (Call Pickup Group Configuration)] ウィンドウのリストを編成できます。

手順

- ステップ 1** P.10-11 の「コール ピックアップ グループの検索」の手順を使用して、グループを検索します。
- ステップ 2** [コールピックアップグループの設定 (Call Pickup Group Configuration)] ウィンドウで、[関連付け先
コールピックアップグループ情報 (Associated Call Pickup Group Information)] 領域までスクロールし
ます。
- ステップ 3** 表 10-1 の説明に従って、フィールドに情報を入力します。
- ステップ 4** [保存] をクリックします。

追加情報

P.10-16 の「関連項目」を参照してください。

電話番号へのコール ピックアップ グループの割り当て

この項では、電話番号にコール ピックアップ グループを割り当てる方法について説明します。コー
ル ピックアップ グループに割り当てられた電話番号だけが、コール ピックアップ、グループ コー
ル ピックアップ、および他グループ コール ピックアップを使用できます。

始める前に

電話番号にコール ピックアップ グループを割り当てる前に、P.10-12 の「コール ピックアップ グ
ループの設定」の説明に従ってコール ピックアップ グループを作成する必要があります。

手順

- ステップ 1** [デバイス] > [電話] または [コールルーティング] > [電話番号] を選択します。
- ステップ 2** コール ピックアップ グループに割り当てる電話機または電話番号を検索するための検索条件を入
力し、[検索] をクリックします。

検索条件に一致した電話機または電話番号のリストが表示されます。
- ステップ 3** コール ピックアップ グループに割り当てる電話機または電話番号を選択します。

- ステップ 4** [電話番号の設定 (Directory Number Configuration)] ウィンドウを使用している場合は、[ステップ 6](#)に進んでください。
- ステップ 5** [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウの [割り当て情報 (Association Information)] リストから、コールピックアップグループを割り当てる電話番号を選択します。
- ステップ 6** [コール転送とコールピックアップの設定 (Call Forward and Call Pickup Settings)] 領域に表示される [コールピックアップグループ (Call Pickup Group)] ドロップダウン リスト ボックスから、割り当て先のコールピックアップグループを選択します。
- ステップ 7** 変更をデータベースに保存するには、[保存] をクリックします。

追加情報

[P.10-16](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

関連項目

- [コールピックアップグループ \(P.10-1\)](#)
- [コールピックアップグループの検索 \(P.10-11\)](#)
- [コールピックアップグループの設定 \(P.10-12\)](#)
- [コールピックアップグループの設定項目 \(P.10-13\)](#)
- [コールピックアップグループの削除 \(P.10-14\)](#)
- [他グループ コールピックアップのピックアップグループの定義 \(P.10-15\)](#)
- [電話番号へのコールピックアップグループの割り当て \(P.10-15\)](#)
- 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」
- 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「パーティションの設定」
- 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「ルートプラン レポート」
- 『Cisco Unified CallManager システム ガイド』の「Time-of-Day ルーティング」
- 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「ソフトキー テンプレートの設定」
- 『Cisco Unified IP Phone アドミニストレーションガイド for Cisco Unified CallManager』
- Cisco Unified IP Phone のユーザ資料とリリース ノート (すべてのモデル)